

第一回 11月25日 (月) 19:00 -

ギーク・エコノミア

テーマ『欲望の資本主義3』からの話題提供として

沖山誠 (きょん)

本の内容の構成の整理

大きく2つの構成に分けられる

第一部

現状分析と その解決策

ギャロウェイ、ホスキンソン、ティロール

GAFGA※による市場独占が
企業の競争を歪めている



それがどんな影響を市場に与えて
いるのか？ どう解決すべきか？

第二部

資本主義の 起こりうる未来

ハラリ、ガブリエル

資本主義はどのような未来に
向かっているのか？



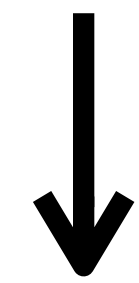
未来に向けて、我々が考慮しなけ
ればならないことは何か？

※GAFGA=Google,Apple,Facebook,Amazonの巨大IT企業の頭文字を取った略称。「The Big Four」とも。

第一部の論者の課題意識

ギャロウェイ

市場が不公平になり企業の競争が阻害され、不平等が拡大している



このままだと、やがて戦争・飢餓・革命により不平等が自己修正される

ホスキンソン

GAFAがインフラとなりサービスの仲介者として個人情報の人々から奪う



インフラ企業が中央集権化し、情報を利用して人々を支配できてしまう

ティロール

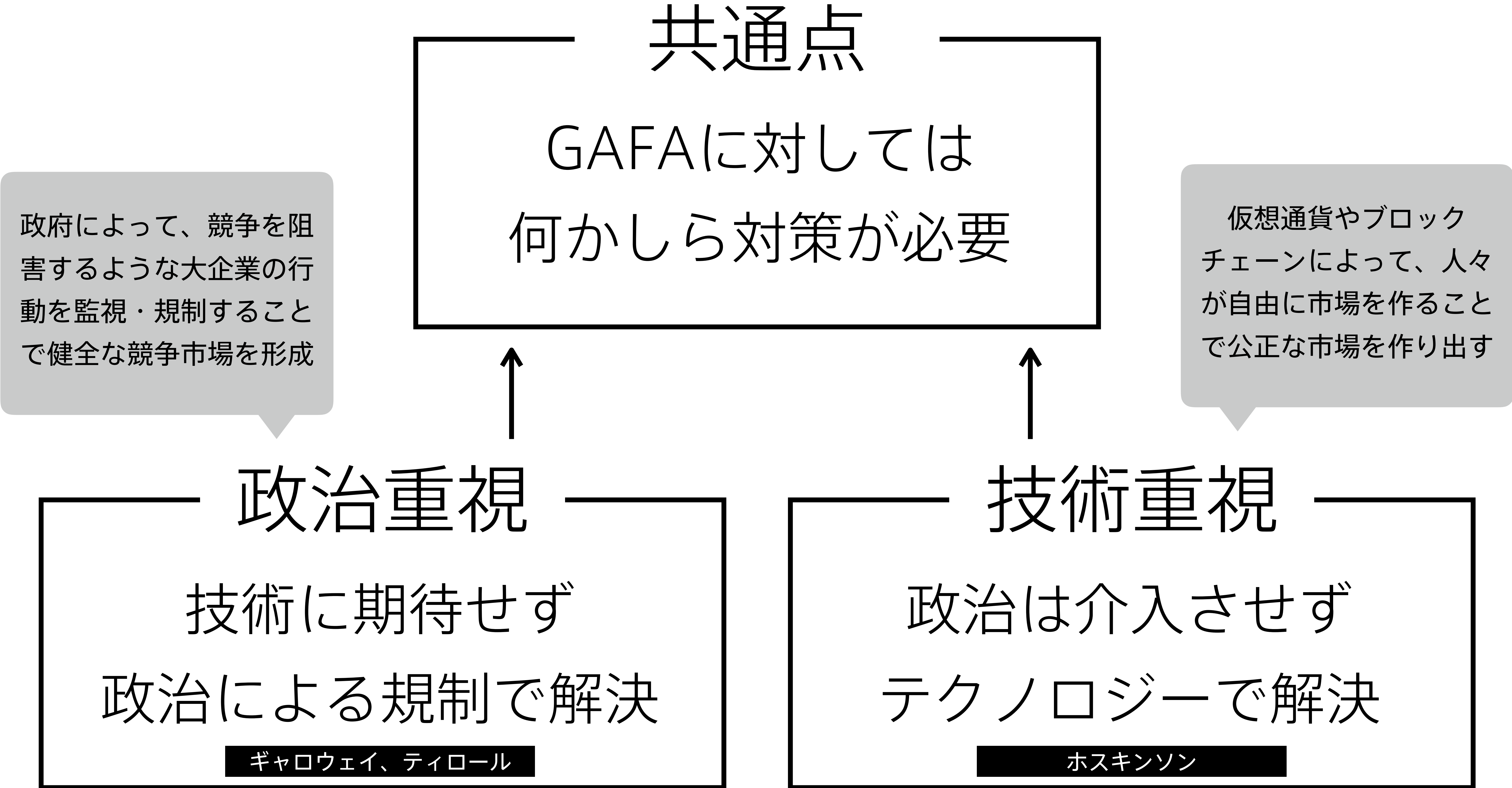
GAFAがインフラとなり市場を独占し、健全な競争を阻害している



新興企業による競争が生まれず、消費者の利益が失われてしまう

課題意識はほぼ一致。ただし、解決策については対立

資本主義の問題解決のアプローチが違う



それぞれの立場でどのような意見の違いがあるのか？

それぞれの立場に対する批判

そもそも仮想通貨がどれだけ生き残れるかが怪しく、
その上マネーロンダリングへの利用や通貨発行益の
喪失、金融制度の毀損などの問題がある

政治重視

技術に期待せず
政治による規制で解決

ギャロウェイ、ティロール

批判



技術重視

政治は介入させず
テクノロジーで解決

ホスキンソン



批判

政府による規制はイノベーションを阻害し、起業家
精神を損なう上に、予期せぬ悪影響を生み出す
可能性があるという問題がある

ここまでが第一部。次に第二部について解説。

第二部について

二人の論者が資本主義の未来を語る

ハラリ

資本主義の歴史を振り返り
未来について考える

ガブリエル

テクノロジーによる
民主主義の危機について語る

それぞれ解説していく

ハラリによる資本主義の未来の考察

これまで

自律分散

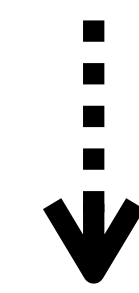
自由市場による各自の決断が
全体を効率的に最適化

移行
→

これから

中央集権

AIや機械学習の登場。一カ所に
データを集めた方が効率的に



**これからの資本主義のシステムは
これまでの自由市場と全く違う動きをする**

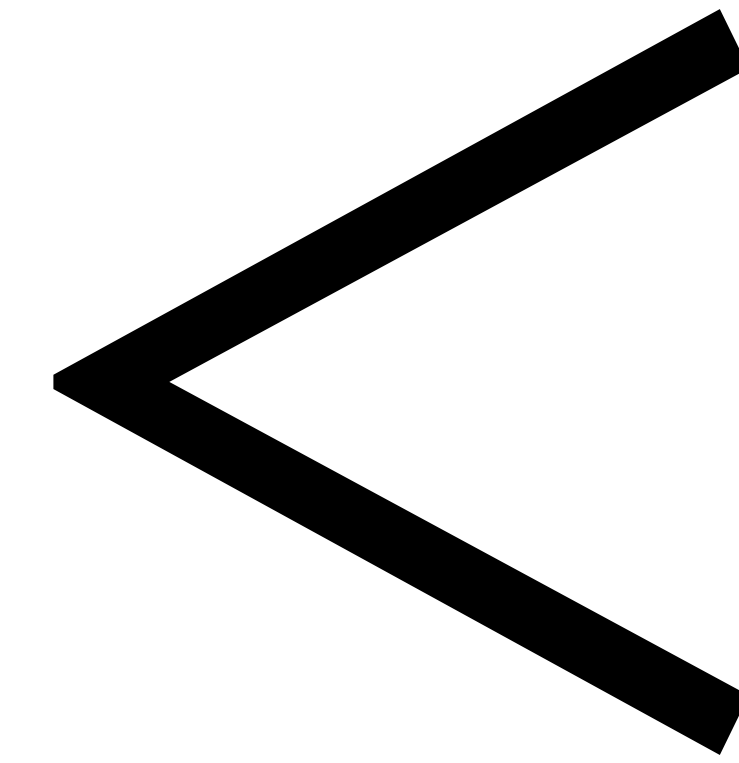
GAFAsのような巨大企業や、中国のような集権的な国家が強くなるかも？

ガブリエルによる資本主義の未来の考察

人々のコミュニケーションの比重

現実世界

人が生きる「真実」の世界



仮想世界

インターネットの「偽り」の世界

人々は機械やメディアの背後にいる「誰か」にコントロールされている

ソーシャルメディアが人々の社会性やコミュニケーションを破壊し、
真実を遠ざけることで、民主主義が機能しなくなる

やがて現代の文明は、世界の不真実性によって崩壊する

これからの資本主義で考えるべきこと

ハラリ

データが最大の価値となる資産になる
新しい資本主義を前提とした制度を設計する
例：データの所有権 など

ガブリエル

現実の体験によって得られる価格に表せない
価値を復興すること
例：自然科学以外の知識も尊重する など

さいごに

各論者の内容を細かく整理すると以下のようなになる

論者	ギャロウェイ	ホスキンソン	ティロール	ハラリ	ガブリエル
テーマ	GAFGAが変質させた資本主義のルール	世界の貧困層に金融サービスを提供できる仮想通貨	GAFGA時代の競争政策のあり方を考える	文明論的に見た資本主義の未来	資本主義と民主主義の危機を哲学する
問題意識	GAFGAによる独占により市場が不公平になり企業の競争が阻害され、不平等が拡大している	GAFGAがインフラとなりサービスの仲介者として個人情報の人々から奪い、支配してしまう	GAFGAがインフラとなり市場を独占し、健全な競争を阻害して消費者の利益を損なう	新技術による経済システムの中央集権化	インターネットを通じた仮想の世界での表面的なやり取りによって真実が軽視され、民主主義の基盤が崩壊する
解決策	巨大企業の分割	仮想通貨による国や仲介者を介さない市場の形成と規制	国や行政による市場の管理と規制により競争環境を整える	新しい資本主義を前提とした制度を考えること	現実の体験によって得られる価格に表せない価値を「哲学的な知」によって復興すること

以上